

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(中村工機株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30様式改定】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちるに理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			NMSマニュアルに差別の禁止を謹み、関連する行動規範を定めるとともに、実施状況をCSR法規制・行動規範リスク管理表で定期評価している				5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3						16.1 16.2 16.7						
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			NMSマニュアルにハラスメントの禁止を謹み、関連する行動規範を定めるとともに、実施状況をCSR法規制・行動規範リスク管理表で定期評価している				5.1 5.2 5.5		8.5 8.8								16.1					
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			NMSマニュアルに労働時間の法令順守を謹み、関連する行動規範を定めるとともに、実施状況をCSR法規制・行動規範リスク管理表で定期評価している						8.5 8.8													
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本		【予定】	【予定】外国人労働者を雇用する場合も、NMSマニュアルの行動規範等に基づいて行動し、実施状況をCSR法規制・行動規範リスク管理表で定期評価する				4.4		8.7 8.8	10.2 10.3												
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			NMSマニュアルに定める労働安全衛生の管理体制と関連基準に基づいて環境整備に努め、実施状況をCSR法規制・行動規範リスク管理表で定期評価している			3			8													
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本		【予定】	【予定】労働安全衛生の管理体制と関連基準にメンタルヘルスに関する取組みを位置付け、実施状況をCSR法規制・行動規範リスク管理表で定期評価していく			3																
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			多様性を尊重し活かす具体的な取り組み（男女雇用機会均等・高齢者雇用）を実施中であり、今後も継続して環境整備に取り組む			5.1 5.5		8.5	10.2 10.3													
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			NMSに基づいて毎年度策定するNMS管理計画の中で、意識・知識・技能・資格などの教育訓練計画を立案・実施し、その有効性を評価している			4	5.5		8	9												
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			賃金関連法を順守し、社会保険労務士の見解を参考にしながら、同一労働同一賃金の原則に従って、支払明細書を明示して支払っている				5.5		8.5	10.2 10.3												
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			NMSマニュアルに定めた健康診断実施基準に基づき、健康投資を行い、生産性向上を図っている			3			8													
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			NMSに基づいて毎年度策定するNMS管理計画の中で、廃棄物管理に関する項目を設け、実施状況を四半期ごとにフォローしている													11.6	12		14.1			
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			NMSに基づいて毎年度策定するNMS管理計画の中で、エネルギー使用量、温室効果ガス削減量の監視を行っている						7.3								13					
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			NMSに基づいて毎年度策定するNMS管理計画の中で、温室効果ガス削減施策を盛り込み、実施状況を四半期ごとにフォローしている						7.2 7.3							12.4	13.3					
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			NMSに基づいて毎年度策定するNMS管理計画の中で、取り扱い製品に含有する化学物質の調査を行い、非含有証明を顧客に提供している			3.9		6.3								11.6	12.4					

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (異などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目												
						1 1% Amm	2 2% Coo	3 3% Sust	4 4% Edu	5 5% Glo	6 6% Soc	7 7% Env	8 8% Eco	9 9% Res	10 10% Dgn	11 11% Hlth	12 12% Inno	13 13% Clt
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本		【予定】	【予定】NMSマニュアルに生物多様性に配慮した行動規範を盛り込み、実施状況をCSR法規制・行動規範リスク管理表で定期評価する						6.6							15
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本		【予定】	【予定】NMSに基づいて毎年度策定するNMS管理計画の中で、3Rの推進に関する項目を設け、実施状況を四半期ごとにフォローしていく										13	14.1		
	【水の管理】 ・水资源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ									6.4 6.6							
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			ISO14001を認証取得し、四半期フォロー、内部監査、維持・更新審査を活用してPDCAサイクルを回し、継続的な改善を図っている。		3.9		6	7					12	13.3	14	15
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			環境方針を自社ホームページ及び営業所に公開している										12.6			
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			太陽光発電設備を設置するとともに、CO2フリー電気を購入している					7.2					13			
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ													12.2	13	14	15
公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			NMSマニュアルに汚職・贈収賄禁止の倫理規範を定め、テキストにて全従業員に毎年意識教育を繰り返している												16 16.5	
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			NMSマニュアルに公正な事業を進める倫理規範を定め、テキストにて全従業員に毎年意識教育を繰り返している												16	
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			NMSマニュアルに知的財産権保護の倫理規範を定め、CSR法規制・行動規範リスク管理表で定期評価している					8.2 8.3	9							
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			NMSマニュアルに個人情報保護権保護の倫理規範を定め、CSR法規制・行動規範リスク管理表で定期評価している												16	
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			NMSマニュアルに紛争鉱物でないとの調査と開示を行う旨を定め、顧客の要望に応じた調査を行って確認している												16	
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			顧客のサプライヤー管理プログラムに基づき、調達ガイドラインの順守、自己評価、リスク分析、改善活動のサイクルを回して、レベルアップを図っている。			5		8	10	12	13	14	15	16 17		
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	「パートナーシップ構築宣言」を作成し公表する		3				8	9	10					17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸收評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定